

KINZAI



KNOWLEDGE CAPITAL
ナレッジキャピタル



Kinki Local Finance Bureau



GRAND FRONT OSAKA
グランフロント大阪

地方創生セミナー IN ナレッジサロン フォローアップ

「都市部の農地を活用した地域の活性化について」

今回は、平成29年10月3日に地方創生セミナーinナレッジサロンで開催した株式会社マイファームによる講演会のフォローアップとして、平成30年5月24日、25日に融資課が開催した大阪府内地方公共団体との意見交換会に併せ、同社による講演を実施しましたので報告いたします。

実施までの経緯

きっかけは、当局に上記セミナーの講師をしていただいた(株)マイファーム西辻社長より「**都市部における耕作放棄地の解消に当社の取組がお役に立てると考えているが、地方公共団体の財政・都市計画の担当と接触する機会がない。近畿財務局ではそのような機会はないでしょうか。**」と相談がありました。

なぜ財政・都市計画担当なのか尋ねると、農業委員会等の直接の担当者は既存の農業従事者との関係性もあり、取組をより進めるために別の角度からアプローチをしたいとのこと。

地方公共団体が対象ということで融資課の出番。田中融資課長以下融資課一同で対応を検討したところ、田中課長より「毎年開催している大阪府内地方公共団体の財政担当課長を招いた意見交換会の機会を活用してはどうか。」との意見。若干意見交換会のネタに困っていた当課としては一石二鳥です。

そこからは、トントン拍子で話が進み、意見交換会に併せて講演を開催することとなりました。

当日は意見交換会終了後、(株)マイファーム農地活用担当の上田悠太氏及び同社と連携して取組を進めている(株)地域経済活性化支援機構の中西秀一氏により「**都市部の農地を活用した地域の活性化について**」と題して講演が行われました。



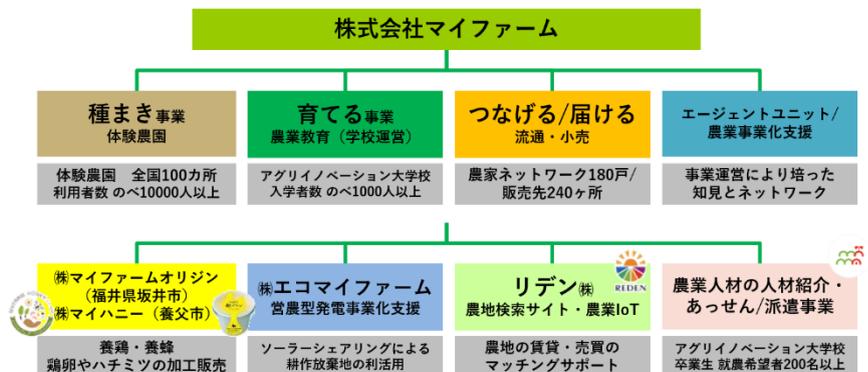
『都市部の農地を活用した地域の活性化について』

◇講演の概要

(株)マイファームが手掛ける体験農園事業について、都市部地域における耕作放棄地や都市農地を対象に農園の開設を進めていること、体験農園は「農業への入口」として指導員、農具、肥料、テキスト付で栽培を手軽に始められるようにしており、シニア層だけではなく女性やファミリー層もターゲットとして展開していること、農園の開設に向けたスキームや同社によるサポート内容、法人等による利用事例や利用料金・収支状況について紹介。

その他、農業の担い手育成事業であるアグリイノベーション大学の概要や大手企業による農業関連事業への参入を支援する農業コンサルティング事業について紹介。

上記の取組により**町の活性化、人口増、税収増につなげることも期待できる**との説明。



質疑応答

Q1 「市町村が運営に関わる福祉農園と利用者が重ならないのか」

A1 「福祉農園はある程度経験のある高齢者中心で、体験農園とは利用料金やサービス内容が異なるため顧客層は重ならないと考えている」

Q2 「税収への寄与はあるのか」

A2 「(土地所有者が市外居住の場合もあり一概には言えないが)耕作放棄地や生産性の低い都市農地の活用により従前よりも収益を上げているオーナーが多く、その分の地方税収の増加は期待できる。また、大手企業の進出があれば当然税収に寄与すると思われる」

参加団体からの反応

講演後には、耕作放棄地の解消に取り組もうとしている団体から講師に相談があり、**今後同社と連携した事業実施に向けて、個別に連絡を取り合うこと**となりました。その他にも、**別途担当者向けの説明会を希望**する団体もありました。

株式会社マイファームのみなさま
講演会にご参加いただいたみなさま

本企画でお世話になったみなさま、誠にありがとうございました。

近畿財務局・融資課では
地方公共団体との窓口として、
地方創生等に係る支援や情報提供を
行っていききたいと思います。
ぜひ、あなたの地域でも活性化に
向けたお手伝いをさせてください。
06-6949-6376 局・融資課